

環境影響評価準備書の概要

方法書



準備書



評価書

環境影響評価項目

環境影響評価項目	工事中	存在・供用時
大気汚染	○	—
水質汚染	○	—
騒音	○	○
振動	○	○
地盤沈下	○	—
廃棄物・発生土	○	○
水象（河川、地下水）	○	○
地域社会	○	—
景観	—	○
文化財	○	—
安全	○	—

大気汚染

工事中

建設機械の稼働に伴う大気への影響
工事用車両の走行に伴う大気への影響

- ・ 粉じん等
- ・ 二酸化窒素
- ・ 浮遊粒子状物質

予測結果（粉じん等）

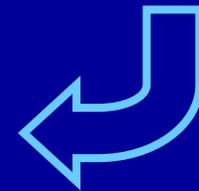
粉じん等の発生・飛散

- ・ 資材等の集積、土工、解体工事、土砂運搬の際に発生
- ・ 風速5. 5m/s以上で飛散

砂ぼこりが立つ

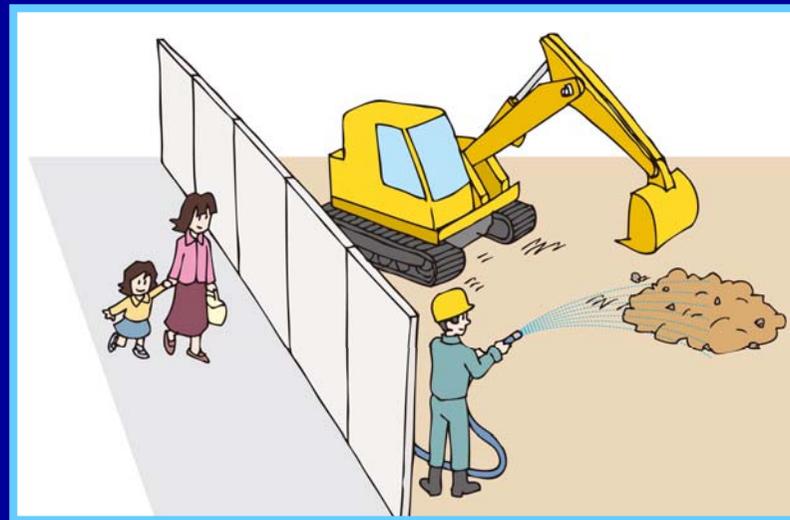
出現率 3.3%

粉じん等が飛散しにくい



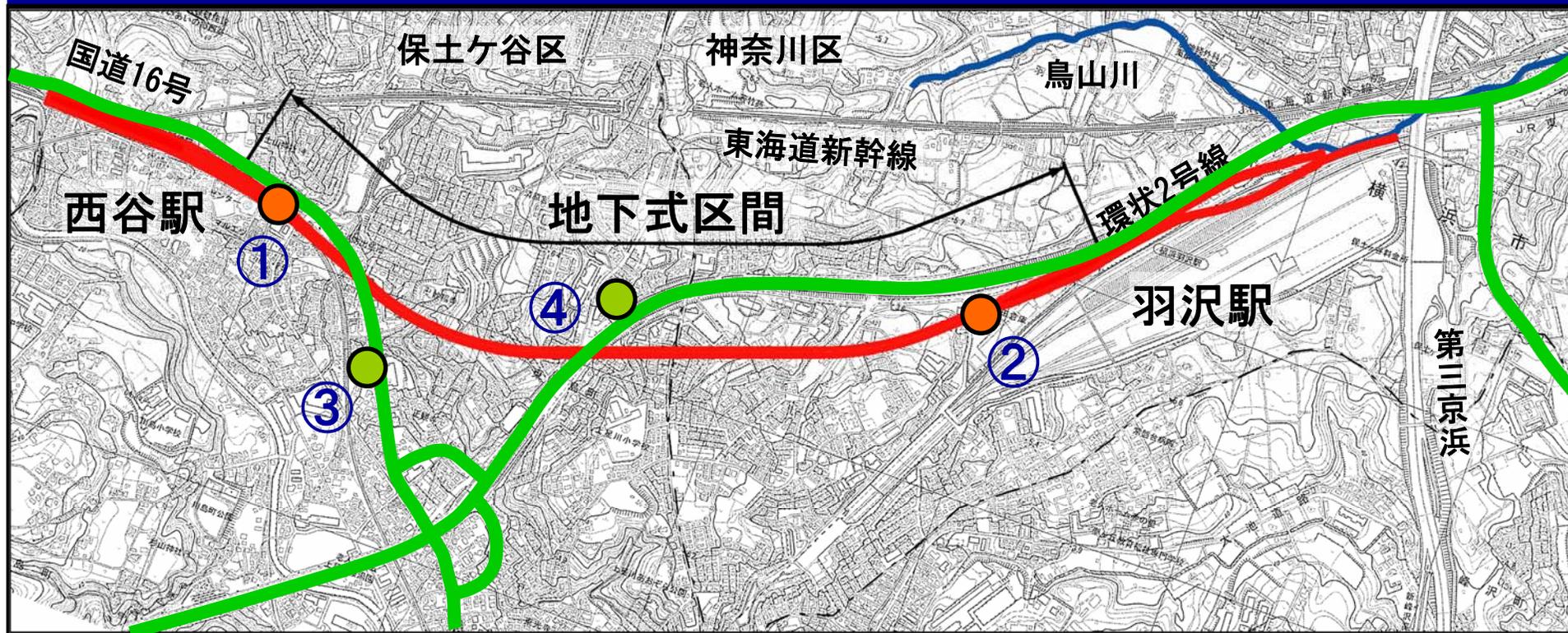
環境保全のための措置の例（粉じん等）

工事用車両出入り口及び周辺の清掃、散水等により、粉じん等の発生、飛散の低減を図ります。



※ 環境保全目標：周辺の住居等に粉じん等による著しい影響を及ぼさないこと

予測地点 (二酸化窒素及び浮遊粒子状物質)



凡例

- 予測地点(建設機械の稼働に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質)
- 予測地点(工事用車両の走行に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質)

予測結果（建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴う二酸化窒素）

単位：ppm

予測地点		工事による寄与濃度 (現況濃度)	1日平均値の 年間98%値	環境保全目標※
建設機械	①西谷駅付近	0.005 (現況：0.027)	0.057	0.04~0.06 以下
	②羽沢駅付近	0.001 (現況：0.027)	0.052	
工事用車両	③国道16号	0.00002 (現況：0.031)	0.058	
	④環状2号線	0.00010 (現況：0.031)	0.058	

※ 環境保全目標：「二酸化窒素に係る環境基準について」に示されている環境基準

予測結果（建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴う浮遊粒子状物質）

単位：mg/m³

予測地点		工事による寄与濃度 (現況濃度)	1日平均値の 年間2%除外値	環境保全 目標※
建設機械	①西谷駅付近	0.0012 (現況：0.033)	0.081	0.10以下
	②羽沢駅付近	0.0002 (現況：0.033)	0.079	
工事用車両	③国道16号	0.00001 (現況：0.035)	0.084	
	④環状2号線	0.00004 (現況：0.034)	0.081	

※ 環境保全目標：「大気の汚染に係る環境基準について」に示されている環境基準

環境保全のための措置の例 (二酸化窒素及び浮遊粒子状物質)

建設機械の点検・整備による性能維持や、工事用車両及び走行ルート分散化を行うなどにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生の低減を図ります。



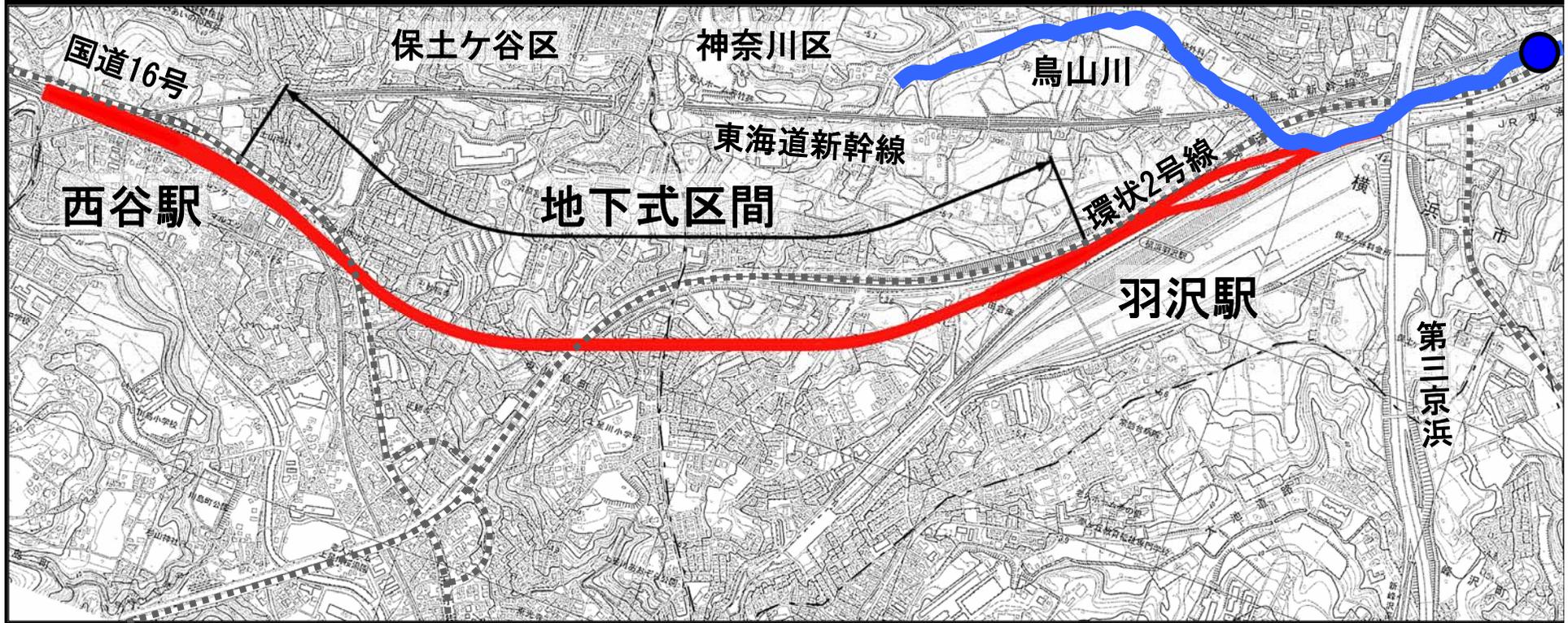
水質汚濁

工事中

工事排水に伴う水質への影響

- ・ 浮遊物質
- ・ 水素イオン濃度

予測地点（水質汚濁）



凡 例

- 予測地点（工事用排水に伴う水質汚濁）

予測結果（浮遊物質）

単位：mg/l

予測地点	時期	予測結果	環境保全目標※
鳥山川	豊水期	6.3	25以下
	渇水期	9.4	

※ 環境保全目標：「横浜市水と緑の基本計画」における全水域における一律達成目標

予測結果（水素イオン濃度）

工事排水

汚濁水処理装置により水素イオン濃度を6.5～8.5に調整し排出

環境保全目標：「横浜市水と緑の基本計画」
の全水域における一律達成目標

環境保全のための措置の例（水質汚濁）

定期的な測定や、汚濁水処理装置の点検、整備を徹底し、常に水素イオン濃度や浮遊物質量の適正な処理を行います。

